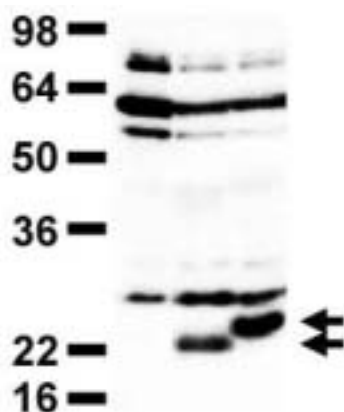


抗 ヒト APH-1a ポリクローナル抗体

アミロイド ペプチドはアルツハイマー病(AD)の原因蛋白として知られています。このアミロイド ペプチドは、セクレターゼと セクレターゼによってアミロイド前駆体蛋白質より切り出され、分泌されます。近年、セクレターゼに関する研究が進み、プレセニリンを中心として、ニカストリン、PEN-2 及び anterior-pharynx defective 1 (APH-1) によって構成されている複合体が セクレターゼそのものであることが明らかとなってきました。APH-1 は セクレターゼ活性に必須で、複合体の安定化に働いていると考えられています。また、セクレターゼは、発生過程で重要な Notch シグナリングにも関与しています。

本抗体は、ヒト APH-1a の部分ペプチドを抗原として作製しました。相同分子であるヒト APH-1b とは交差性を示しません。AD 発症のメカニズムや情報伝達を研究する上で有用であることが期待されます。ウェスタンブロットティングに使用可能です。

容量	25 μ g (100 μ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2% ブロックエース(安定化蛋白)、0.1% proclin 含有]
保管方法	-20 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4 で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ヒト APH-1a の部分ペプチドを抗原として免疫し、得られたウサギの抗血清より、抗原アフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	ウェスタンブロットティング: 3 ~ 10 μ g/mL



ウェスタンブロットティング

Sample: 遺伝子導入した N2a 細胞の cell lysate
 mock
 APH-1aS (247 アミノ酸)
 APH-1aL (265 アミノ酸)

提供: 東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学教室
 岩坪 威 先生
 富田 泰輔 先生

抗 ヒト APH-1a ポリクローナル抗体

【参考文献】

1. Fortini ME. : Nat Rev Mol Biol. 2002 3: 673-684
2. Goutte C. et al. : Proc Natl Acad Sci USA. 2002 99: 775-779
3. Francis R. et al. : Dev Cell. 2002 3: 85-97
4. Lee SF. et al. : J Biol Chem. 2003 277: 45013-45019
5. Takasugi N. et al. : Nature 2003 422: 438-441

製造元



〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp